



iPod and iTunes

Product Overview
2004年5月



目次

Page 3	iPodへようこそ
Page 4	iPodが最高のデジタルミュージックプレーヤーである理由 どこにでも持ち歩けるほど小さく、音楽コレクションすべてが収められるほど大きい MacとWindowsの両方に対応 みんなが使えるiTunes アップルならではの使いやすさと卓越したデザイン 音楽以外の機能も充実 iPod:日常生活の必須アイテム
Page 12	iPodの楽しみ方 準備は簡単、音楽を読み込んで聴いてみよう! ヒントとコツ
Page 17	iPodのアクセサリ 自宅で 自動車で 外出先で
Page 22	製品の詳細 標準構成 システム条件 関連製品 レーザーパーソナライズサービス
Page 24	技術仕様

iPodへようこそ



iPodの発売以来、その超軽量な使いやすいボディに収まった大容量ストレージによって、ポータブルミュージックプレーヤーのあり方は再定義され、人々の音楽の楽しみ方や楽しむ場所は大きく変わりました。たった1つのポケットサイズのデジタル機器が登場したことで、自宅でもドライブ中でも、人々は好きな場所で好きな音楽を自由に楽しめるようになったのです。iPodが突出した存在となったのは、定評あるソフトウェアのiTunesとの関係の良さも大きな理由です。iPodとiTunesに見られるハードウェアとソフトウェアの見事な一体化は、アップルだからこそ成し遂げられたものです。アップルはハードウェアとソフトウェアの両方を手がけるメーカーとして両者の高次元の統合—ユーザにとつての「使いやすさ」を目指しており、iPodとiTunesでは、コンピュータが側にあってもなくても、面倒な操作なしで、簡単に目的の曲を見つけて楽しめるようにしました。

アップルでは、1年以上にわたってMac、Windowsの両方のユーザに向けてiPodを提供してきましたが、この間にもかつてないほどの評価を受け、iPodはポータブルデジタルミュージックプレーヤーの基準にもなりました。さらに、iTunes for Windowsを発表したことで、すべてのiPodユーザに対して、機能満載ながらも使いやすい、音楽を楽しむためのベストソリューションをお届けできるようになりました。iTunes 4と組み合わせることで、第3世代になったiPodは、以下の点でデジタルミュージック体験のクオリティをさらに高めます。

- 驚異のポータビリティ 2枚分のCDよりも軽いのに最大40GB¹の記憶容量を備えるiPodは、どこにでも持っていける小型サイズながら、10,000曲もの音楽²が入ります。
- Mac版、Windows版のiTunesとのスムーズな一体動作 特許出願中のオートシンク機能により、iTunesの音楽やオーディオブックをiPodに転送して同じ内容に自動更新。iPodからiTunesへのOn-The-Goプレイリストの転送にも対応しました。
- 使いやすさ重視のデザイン 専用Dockに加え、片手で目的の曲が見つけれられるタッチホイールとタッチボタン、さらに暗いところでも使えるバックライトをタッチボタンとスクリーンに装備しています。
- ボイスレコーディング機能 ボイスメモ、会議の議事録、インタビューなどが手軽に録音できます³。
- メディアリーダー機能 デジタルカメラで撮った写真をiPodに転送・保管して、カメラのメモリカードを空きを作ることができます³。
- 増え続けるアクセサリ 各社から発売中の50種類以上のiPod専用アクセサリで、自宅で、自動車、外出先で、iPodがますます便利に利用できます。

660時間分(4週間分)も入る音楽に加え、ノートリーダー、新しいミュージックゲーム、カレンダー、アドレス帳といった便利な機能も備えるiPodは、自宅で、トレーニングジムで、あるいは通勤・通学時や旅行の移動中など、いつでもどこでも、長時間のサウンドと便利な機能が楽しめます。CDから取り込んだ音楽を楽しむ以外にも、自作のデモ曲を他人に聴かせたり、録音した講義を聞いて復習するような目的にも、iPodは大活躍します。iPodは音楽コレクションはもちろん、日常にある大切な「音」を常に身近においておくための最高の手段です。本書では、そんなiPodの魅力をご紹介します。

iPodが最高のデジタル ミュージックプレーヤーである理由



小型・軽量で、従来モデルよりも多くの記憶容量と機能を備える新しいiPodは、自宅で、自動車で、外出先で、日常生活の必須アイテムとなるように設計されています。記憶容量が増えたことで、多数の曲、テキストファイル、ボイスメモ、スケジュール表、連絡先などのデータも持ち運べるようになりました。MacとWindowsコンピュータのために作られたiPodはポケットサイズで非常に軽く、大容量ドライブ、片手で簡単に操作できる使いやすさ、25分間のスキッププロテクション(音飛び防止機能)、便利なDock、Mac版とWindows版それぞれのiTunesとのオートシンクなど、いずれもこの分野で最高の特長を備えています。

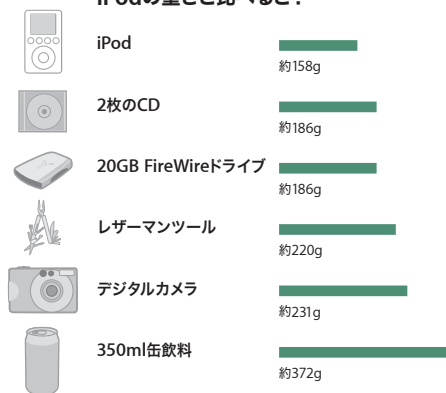
どこにでも持ち歩けるほど小さく、
音楽コレクションすべてが収められるほど大きい

iPodはどこにでも携帯できることを前提に設計されているので、音楽好きなら行く先々で気に入った音楽が楽しめます。学生の方ならキャンパスを歩きながら聴いたり、あるいはiPodにアンプ内蔵スピーカーをつないで、ワンルームの自室にも場所を取らないステレオとしても使えます。身体を動かすのが好きな方には、25分間ものスキッププロテクション、小型・軽量デザインというiPodの特長に価値を見いだされるかも知れません。電車での通勤・通学時にCDやMDプレーヤーをお使いなら、コンパクトサイズでメディアを入れ替えずに10,000曲(4週間分)もの音楽²が聴けるiPodへの乗り換えは大いに検討の余地があるでしょう。iPodの長時間バッテリー駆動、大きな記憶容量、高いポータビリティは、旅行に持って行くにも最適です。

小型・軽量のチャンピオン

カセットケースよりも小さく、エッジ部分がスムーズにラウンド加工されたiPodは、手にすっぽりと収まり、ポケットにも簡単に入る細身のボディが自慢です。158g⁴という重さはポータブルCDプレーヤーよりも軽く、ほぼ携帯電話と同等です。

iPodの重さと比べると？



iPodは、私たちが持ち歩く大抵のものよりも軽いのがわかります。

こんなに細身です

iPod 15.7mm	CDケース2枚 19.5mm	携帯電話 19.5mm	デジタルカメラ 27.9mm
----------------	-------------------	----------------	-------------------

iPodは、CDケース2枚分(多くても20~40曲分)よりも薄く軽く小さいのに、10,000曲もの曲が入ります。

10,000曲分の音楽の長さとは？

- 毎日1時間ずつ別の音楽を聴いても、1年10カ月の間は同じ曲を聞くことがない。
- 毎日1曲ずつ別の音楽を聴いたら、27年間は同じ曲を聞くことがない。
- 4週間のパカンスの間中、休みなく音楽を聴き続けても同じ曲を聞くことがない。
- 東京・博多間を同じ曲を聞かずに13回ドライブできる。

iPodの充電方法はさまざま

コンピュータから数日間離れて、ACコンセントがないような場合でも大丈夫。別売のバッテリーパックなら、単3電池4本を使ってiPodの駆動時間を20時間も延ばせます⁵。あるいは別売の自動車用電源アダプタを利用してiPodを充電することもできます。

大容量のハードディスク

iPodは15GB、20GB、または40GBの大容量ハードディスク¹を内蔵し、最大10,000曲分の音楽(連続再生で660時間分の再生時間)が入ります。iPodは外付けハードディスクとしても機能し、ファイルの保管・転送・バックアップ用途に利用できます。

Dolby AACフォーマット

iPodとiTunesは、先進のデジタル音声フォーマットであるMPEG-4 AAC (Advanced Audio Coding)にも対応しています。AACでは、MP3よりも高い圧縮率でも、それより高音質で音楽CDにも迫るサウンドが得られます。このため、AACで圧縮した場合にはiPodに(MP3よりも)さらに多くの曲が入れます。AACはスケーラブルな音声フォーマットで、その洗練された圧縮方法には「人の耳が音を知覚するときの特徴を模した方法」が採り入れられていますが、これは「コンピュータが音として再現しやすい方法」で圧縮する他のフォーマットとは異なるアプローチです。iPodとiTunesはこれまで同様に、MP3ほかの対応フォーマットをすべて扱えますが、AACで圧縮する場合には音質とポータビリティの面で多大なメリットがあります。

8時間駆動のリチャージャブルバッテリーとコンパクトな電源アダプタ

iPodの小型・軽量ボディに収まったリチウムイオン方式の内蔵リチャージャブルバッテリーは、最長8時間の連続再生ができる電力を供給できます⁵。バッテリー残量はアイコンで正確に確認できるほか、充電もとても簡単です。iPodの電源アダプタは電源ラインにFireWireを採用した初めての製品です。iPodはコンピュータのFireWireポート(電力が供給されているIEEE 1394ポート)につないで直接充電することも、外出先なら電源アダプタにつないで充電することもできます。どちらの場合にも、iPodの内蔵バッテリーは80%容量までは1時間で高速充電され、3時間あれば完全充電できます。

最長25分間のスキッププロテクション

iPodは行動派の方でも活用できるようにデザインされています。その理由は、iPodが内蔵する32MBものキャッシュです。このキャッシュはソリッドステート方式なので機械的な可動パーツが一切なく、動きや振動の影響を受けません。128Kbps AACで圧縮された曲なら一度に最長25分までキャッシュに読み込めます。iPodにある曲は、ハードディスクではなく、このキャッシュから再生されるため、ジョギング、ウォーキング、フィットネスの最中でも音飛びせずに音楽を楽しめます。

MacとWindowsの両方に対応

iPodは、MacとWindowsのどちらのユーザでも、コンピュータから離れているときもデジタルミュージックを楽しめるようにデザインされています。購入後iPodを初めてコンピュータにつないだとき、それがMacなのかWindowsコンピュータなのか判別されます。iPodをつなぐコンピュータをWindowsからMac(またはその逆)に切り替える場合には、iPodの付属CDに収録されたアップデートデータを利用して、iPodを再フォーマットできます。



Dockコネクタはシンプルながら多機能です。

Dockコネクタ

iPodでは、たった1つのシンプル接続で何でもできます。底面部には便利なDockコネクタが装備され、FireWire 400またはUSB 2.0⁶経由でコンピュータとリンクし、ファイルをシンクできます。Dockコネクタには、専用Dock(20GBモデルと40GBモデルに付属、15GBモデルではオプション)のほか、バッテリーパック、カードリーダー、自動車用電源アダプタなど各社から発売中のアクセサリもつなげます。

FireWire 400

IEEE 1394、i.LINKとしても知られるFireWireはアップルが開発した高速な通信プロトコルで、今日のデジタルオーディオ&ビデオ機器に欠かせないインターフェイスです。毎秒400メガビット(Mbps)の速さ⁷でデータ転送を実行できるFireWireでは、CD1枚分の音楽なら5秒ほどでコンピュータからiPodにダウンロードできます。さらに、iPodをつないだコンピュータのFireWireポートが電源ラインを備えていれば、高速なシンクと同時に、iPodの充電も自動的に行われます。

USB 2.0

Windowsをお使いなら、iPodのシンクにUSB 2.0⁶が使える点も喜んでいただけるでしょう。USB 2.0は最新のWindowsコンピュータが備えるインターフェイスで、最高480Mbpsのデータ転送レートを誇ります。USB 2.0はUSB 1.1とも互換性がありますが、その場合のデータ転送レートはかなり遅くなります(最大12Mbps)。

みんなが使えるiTunes

世界最高のジュークボックスソフトウェアがさらに進化して、MacとWindowsの両方で同じように使えるようになりました。iPodとiTunesを組み合わせれば、音楽CDの曲の読み込み、プレイリストを使ったオリジナルミックスの作成、それを自分だけのCDに仕上げたり、iPodに転送して外出先で楽しんだりできます。さらに、iTunesの音楽ライブラリにある曲は、Mac、Windowsの区別なく、自宅にある別のコンピュータのiTunesで聴くこともできます。ここでは、iTunes 4の新機能のいくつかをご紹介します。



出かけるときはシンクして

オートシンク機能のおかげで、iPodへ曲を転送するのは素早く簡単です。FireWireまたはUSB 2.0を経由してiPodをコンピュータにつなぐだけで、iTunesとのシンクは瞬間に実行され、CD1枚分の転送は5秒ほどで完了します。iPodとiTunesが互いの変更点を確認しあうことで、再生回数・最後に再生した日・マイレート(曲の格付け)などの情報は最新の状態になり、iPodで作成したOn-The-GoプレイリストもiTunes側に反映されます。また、どちらもオーディオブックに対して「しおり」を挟んで、再生をストップした位置も記録します。この「しおり」の場所もシンクされるので、朗読の続きは、iPodでもiTunesでも聴くことができます。

大きく向上したレスポンス

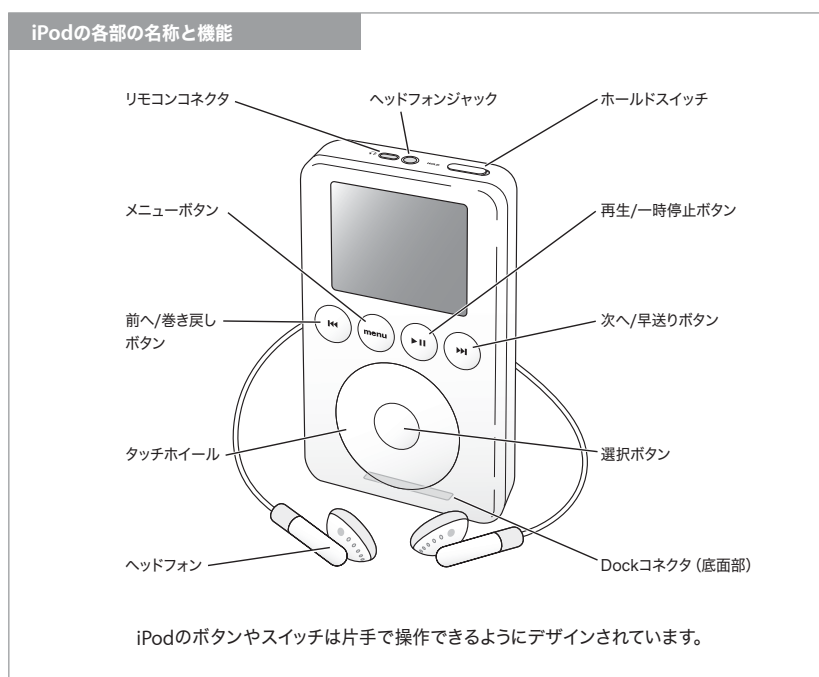
iPodとiTunesはどちらも、音楽を聴くのに煩わしい操作は一切ありません。どちらも、何らかの操作をすれば直ちに反応するように設計されています。iPodでは、最大10,000曲分の音楽から、目的の曲をアーティスト、曲名、作曲者、ジャンルといった項目を基準に探せますが、このプロセスは先進的なアルゴリズムによって迅速に処理されるようになっていました。iTunesとの統合がさらに進んだことで、iPodにある10,000曲分のリストをiTunesで表示するのにかかる時間は、6秒から1秒にまで短縮されました。さらに、この10,000曲を対象にシャッフル再生する場合、iTunesの再生ボタンをクリックして再生が始まるまでの時間は24秒から3.5秒にまで短縮されています。

アップルならではの使いやすさと卓越したデザイン

iPodは使いやすい機能と美しいデザインで時代を先取りし、競合のプレーヤーたちに大きく差を付けています。メインメニューに表示する項目さえも自由に選べるので、ユーザは自分の使いやすいようにiPodをカスタマイズできます。

タッチセンサー方式インターフェイスとスクリーン&ボタンのバックライト表示

iPodでは、すべてのコントロールにタッチセンサー方式を採用し、優れた感覚で正確にコントロールできるようになっています。タッチボタンには誤って押されてしまうような可動部がなく、人間の指先のような導電性のあるものに触れてはじめて動作するため、iPodのようなポータブルデバイスに理想的です。iPodのタッチボタンやタッチホイールに触れると静電容量が変化し、これを選んでコマンドが実行されます。さらに、iPodのLCDスクリーンとタッチボタンはバックライトを装備しているので、暗いところでも判読性は良好。いつでも片手で簡単に操作できます。



ベッドルームや自室で、iPodをホームステレオやアンプ内蔵スピーカーにつなげば、ヘッドフォンなしで音楽を楽しめます。あるいは、Altec Lansing inMotionのようなポータブルスピーカーなら狭い場所でも使えるステレオのできあがりです。

多機能なiPod専用Dock

iPodの20GBモデルと40GBモデルには充電やシンクが簡単になる専用Dockが付属しているため、正しいポートにつなぐのにコンピュータの後ろまで手を伸ばすような必要がなくなります(15GBモデルでは充電とシンクに付属のDockコネクタケーブルだけを使うか、専用Dockをアクセサリとして追加購入いただけます)。iPodのベースステーションになるエレガントで便利なDockは机の上に置いたり、居間のホームステレオにもつながり、iPodのシンクにはFireWireやUSB 2.0、充電にはFireWireを利用します。また、ホームステレオやスピーカーをつなげるオーディオライン出力も備えています。

業界屈指のオートシンク機能

オートシンク機能のおかげで、音楽の転送や更新はすばやく簡単です。iPodをMacやWindowsコンピュータにつなぐだけで、音楽のシンクは自動的に行われます。iTunesで曲を追加したり、プレイリストの曲を並べ替えたりしていれば、この次にiPodをコンピュータにつないだときに、変更内容が自動的にiPodの音楽ライブラリにも反映されます。

自分の使いやすいiPodに

iPodはとてもパーソナルなデバイスです。このため、新しいiPodは各ユーザが使いやすいように設定できます。ミュージックプレーヤーとしては唯一のメインメニューのカスタマイズ機能を備え、よく使う項目にすぐにアクセスできるように変更できます。お気に入りのプレイリスト、アーティスト、ゲームなど、iPodのメニュー項目にあるものは何でもメインメニューから直接アクセスできるように設定できます。

メインメニューのカスタマイズに加え、新しい「On-The-Go」プレイリストでは、iPodだけで聴きたい曲を並べ、それを後からiTunesにシンクできます。また、iPodで格付けした曲のレートもiTunesにシンクできます。iPodでは、さらに凝ったカスタマイズもできます。ノートリーダーの応用的な使い方、メニュー構成を完全に独自のものに変えられます。これを利用すると、博物館や旅行などで、展示品や観光名所の説明をテキストと音声で用意し、それをiPodに入れてツアーガイドに使うようなこともできます。



付属のインナーイヤー型ヘッドフォンは、音質はもちろん、ポータビリティに優れ、装着感も快適です。

40GBのiPodには、300万画素・非圧縮のデジタルイメージ(RAW)を20,000枚以上も保管できます。この合計容量は、256MBのCompactFlashカードなら150枚(価格で約16万円前後)に相当します。

高音質なリスニング体験

iPodに付属のインナーイヤー型ヘッドフォンは高音質サウンドを周波数特性20Hz~20,000Hzの広域で再生でき、ノイズや歪みも最小限で、大音量の音楽が楽しめます。付属ヘッドフォンのドライバは硬質なネオジウム製で、ドライバ素材にアルミニウム、コバルト、セラミックを使った他のデジタルミュージックプレーヤー用ヘッドフォンより5倍もパワフルに再生できます。

音楽以外の機能も充実

ボイスレコーディング

別売のボイスレコーダー(Belkin社製)を利用すると、iPodで日常にある音声を録音・再生し、それをiTunesにシンクして保管できるようになります。このボイスレコーディング機能は、インタビュー、会議の議事録、ちょっとした心覚えを残しておくのに便利です。録音した音声は128Kbps(16bit/8kHz)モノラルのWAVファイルとして記録され、1分あたりのファイルサイズは約1MB(960KB)になります。録音中は2分ごとに自動的に保存され、2分未満であれば録音を終了した時点で保存されます。40GBのiPodでは、最長で28日分の連続録音ができます。

iPodで録音できる長さは？

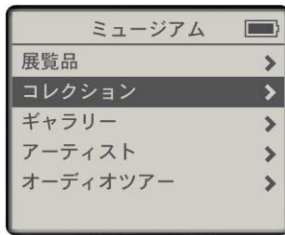
15GB iPod	250時間分
20GB iPod	336時間分
40GB iPod	677時間分

フォトストレージ

別売のメディアリーダー(Belkin社製)を利用すると、iPodはデジタルカメラで撮った写真を実質的に枚数の上限なく保管しておけるバックアップ機器にもなります。iPodで取り込み実行するたびに写真は「ロール」として保管され、iPodをMacにつないだときに、そのままiPhotoに自動的に読み込まれます。Windowsをお使いの場合は、外付けハードディスクとしてつないだiPodの専用フォルダにある写真を、コンピュータにドラッグ&ドロップで保存してください。このフォトストレージ機能により、メモ리카ードが一杯になったら「iPodに写真を安全にバックアップして、カードを空にする」を繰り返せるので、旅行中などはとても便利です。

iPodに保管できる写真の枚数は？

	300万画素	400万画素	500万画素
15GB iPod	9,000枚以上	6,000枚以上	4,000枚以上
20GB iPod	12,000枚以上	9,000枚以上	7,000枚以上
40GB iPod	24,000枚以上	19,000枚以上	15,000枚以上



前述のように、iPodのメニューをカスタマイズして、博物館・各種施設・史跡などをテキストと音声で案内するガイドとして使う場合、iPodはノートオンリーモードになります。メニューから選ぶ解説テキストに音声ファイルをリンクすることで、ビジターや旅行者にリッチなツアー体験を与えられます。

ノートリーダー

ノートリーダー機能では、転送しておいたテキスト情報をiPodのスクリーンで読めます。これを利用すれば、レストランガイドから観光案内、ニュース記事から毎日のエクササイズまで、ちょっとしたメモや役立つ情報をいつでも手元に置いておけます。

ゲームも充実

iPodの付属ゲームは今や4種類。新ゲームのミュージッククイズは、ライブラリにある音楽を聴いてその曲名を当てるというデジタルミュージックプレーヤーならではのもの。こうしたゲームが特にうれしいのは、列に並んだり、電車やバスを待っているようなときでしょう。もちろん、iPodの曲はゲームをしながら聴くこともできます。



iPodには、ミュージッククイズ、ブリック、ソリティア、パラシュートの4つのゲームが付属しています。

アラームクロック

iPodは旅のお供にもぴったりです。アラームクロック機能では、アラーム音や気に入った曲を目覚めの音楽に選べます。また、スリープタイマーを備えているので、音楽を聴きながら眠ってしまったても大丈夫です。

アドレス帳、カレンダー、To Doリスト

アドレス帳、カレンダー、To Doリストなどのパーソナル情報には、コンピュータを離れているときにもアクセスできます。それは、iPodが業界標準のvCard、vCalendar、iCalendarの各ファイルに対応しているから。これらのファイルは、Microsoft Entourage、Palm Desktop、Mac OS Xのアドレスブック、iCalといったアプリケーション⁹から書き出せます。

iPod: 日常生活の必須アイテム

通勤・通学時に

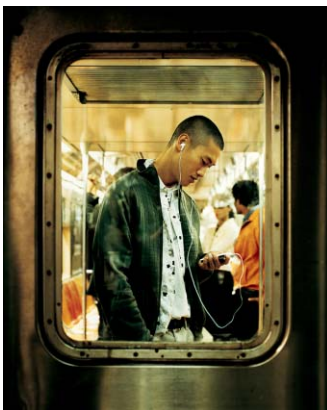
- ・バスや電車での移動中、あるいはドライブ中に、音楽やAudible.comの朗読コンテンツ⁸が聴けます。
- ・自動車の運転時には、iPodの音声をカーステレオで再生することができます(別売アクセサリが必要です)。

オフィスで

- ・外付けハードディスクとして利用し、職場と自宅のコンピュータ間で、あるいは外出先のコンピュータとファイル交換できます。
- ・会議の議事録を音声として残しておけば、話し合われた内容を後から確認したり、会議に欠席した同僚に聞かせたりできます。
- ・カレンダー、予定表、To Doリストを入れておけば、外出先でオーガナイザーとして利用できます。

自宅で

- ・アンプ内蔵スピーカーやステレオにつなげば、ヘッドフォンをつなぐずに音楽を楽しめます。
- ・コンピュータにつないで、最新の音楽をダウンロード(シンク)できます。





キャンパスで

- 講義の合間や自習時などに音楽が聴けます。
- 学生寮などでは限られたスペースを有効活用できます。スピーカーにつないで、ステレオやアラームクロックとして利用できます。
- 試験に備えて重要な講義を録音したり、調査・研究を目的にインタビューを集めたりできます。
- FireWire、USB 2.0方式の外付けハードディスクとして利用し、コンピュータ間でファイルをやり取りできます。ファイルを大学のコンピュータを使ってプリントしたり、毎回違うコンピュータを使う場合にも作業結果はその都度iPodに保存できます。自宅で作ったプレゼンテーションを入れておけば、大学にあるプロジェクターにつながったシステムにiPodをつないで、すぐに発表できます。

トレーニングジムで

- リズミカルな曲を集めたプレイリストを選んでおけば、それに合わせて何時間でも汗を流せます。
- 25分間のスキッププロテクションで、音飛びの心配なく身体を動かさせます。

旅行先で

- 旅行に音楽コレクション全部を持って行けます。
- 訪問先のレストランガイドや観光案内をiPodに保管しておけば、次の旅行のための情報集めができます。
- デジタルカメラで撮りためた写真をiPodに移して、カメラのメモ리카ードを空きを作ることができます。
- ポータブルスピーカーにつないで、アラームクロックとして利用できます。
- 別売のバッテリーバックで、連続駆動時間を20時間以上に延ばせます。

他のミュージックプレーヤーとの比較



Hi-MDと比べた場合

新しく登場するMDの大容量タイプ、「Hi-MD」は、1枚のディスクで最大1GBという大容量を実現したMDの新規格です。Hi-MDは、従来のプレーヤーで再生できないため、新たにレコーダーまたはプレーヤーを購入することが必要です。iPodには15GB、20GB、40GBの3モデルありますが、Hi-MDでiPodと同等の容量を持ち歩くとすると、15~40枚のHi-MDディスクを持ち歩かなければなりません。もちろん、ディスク交換の煩わしさは、従来のMDそのままです。

持ち歩くのはプレーヤー本体だけ。約500枚分のMDを、iPodならまるごと収録

多くのユーザから革新的なミュージックプレーヤーと評価の高いiPodは、小型・軽量で、CD2枚分、MDなら10枚分よりも軽く、約158g (15GBモデル)しかありません。どこへでも持って行くことができ、ポケットにも入れられるポータブルサイズを実現しています。一方で、再生専用MDプレーヤーの中には100g以下の軽量なものもあります。その数値だけを見て、MDの方がポータビリティに優れていると考えるのは早合点です。MDは、1枚80分のディスクを何枚かバッグに入れて出かけるのが一般的ですが、iPodではディスクを持ち歩いて交換する必要がありません。iPod本体には高密度な固定式のハードディスクドライブが内蔵され、本体内に最大10,000曲もの音楽を保管できるからです。² iPodなら、街を歩いているときや通勤の電車内などで、煩わしさを感じていたディスクの交換作業から解放されます。10,000曲を実際に持ち歩くことを考えてiPodとMDプレーヤーを比較してみると、MDならば80分のディスクにして約500枚、約9kgになります。どちらがポータビリティに優れているかは、もはや明らかでしょう。

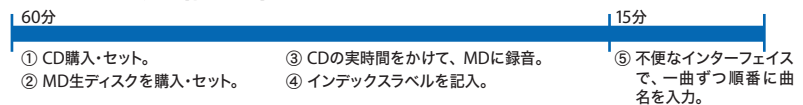
自慢の音楽ライブラリすべてを1台に。

最大10,000曲収録可能なiPodなら、あなたの自慢の音楽ライブラリをすべて持ち歩くことができます。通勤前、ドライブ前の貴重な時間に、「どのアルバムを持って行こうかな?」と棚やケースに保管されているたくさんのMDからお目当てのアルバムを探したり、迷ったりすることもなくなります。懐かしい風景を前に、急に“あの曲”が聴きたくなくても大丈夫。iPodならしばらくは思い出出すこともなかった古い曲でも、すべて持ち歩くことができるのはもちろん、片手であつという間に今この瞬間に聴きたい曲を見つけて、存分に楽しむことができます。

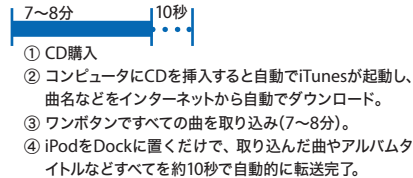
ピュアデジタルなiTunes+iPodなら、すべてが簡単、自由自在

iPodを使いこなすにはパーソナルコンピュータが必要であることから、“難しい”という印象を受けがちですが、誰でも簡単に音楽を聴いたり、管理できるように用意されたiTunesという画期的なソフトウェアによって、とても簡単に楽しめるようになってきました。iTunesもiPodも、シンプルでありながらパワフルで多様性に富んでいます。iTunesとiPodの組み合わせは、今までのミュージックプレーヤーでは考えられなかった機能や柔軟なカスタマイズ性が、デジタルテクノロジーによって実現されています。iTunesには好みに応じて曲順を入れ替えたり、オリジナルのコンピレーションがすばやく作れる「プレイリスト機能」があったり、お気に入りの曲だけが自動的に集められる「スマートプレイリスト機能」などが備わっています。一例として、一般的なMDユーザとiPodユーザを比べて、音楽を楽しむまでの簡単さを確認してみましょう。以下は、CDショップで新譜の音楽CD (約60分)を購入した日に行われる作業です。

MDユーザの場合 (約75分)



iPodユーザの場合 (約9分)



	MD	iPod
10,000曲を持ち歩く場合の総重量	MDプレーヤーと約500枚のMD 約9kg	iPod本体のみ(40GBモデル) 約176g
音楽CD (60分)を購入して、音楽を楽しむまでにかかる時間	約75分	約9分
音楽以外の機能	×	○

iPodでは、音楽以外の用途として以下の機能が利用できます (別途アクセサリが必要となる場合があります)。

- ・デジタルフォトの取り込みと保存
- ・ボイスレコーダー
- ・アドレス帳
- ・カレンダー
- ・ゲーム

この例は、音楽CDのアルバムをそのままMDなどに録音するときの手順ですが、オリジナルのコンピレーションMDを作成するときの手間はもっと複雑なものになります。まず、好みの曲順を考えて、1枚のMDにすべて収録できるかどうかを確認しながら、1曲ずつ順番に録音していくことになります。MDの場合、あとから曲順を入れ替えるのも面倒な操作が必要です。iTunesなら好みの曲をドラッグ&ドロップするだけで曲順を入れ替えたり、オリジナルのプレイリストを手軽に作ることができます。完成したプレイリストをiPodにシンクするのも数秒で完了。曲の合計時間を気にする必要もなく、自分の思いのまま自由自在に音楽を楽しむことができます。

シンプルな使いやすさ



オリジナル選曲が簡単に楽しめるプレイリスト

自分の好きな曲だけを集めたオリジナルのプレイリストの作成も、iPodと組み合わせて使うジュークボックスソフトウェアiTunesがあれば簡単です。たくさんの音楽ライブラリの中から好みの曲を選んでマウスでドラッグ&ドロップするだけ。曲の順番の入れ替えも、同様にマウス操作だけで行えます。自動的にお気に入りの曲を集めるスマートプレイリスト機能も便利です。また、特定のプレイリストまたはミュージックライブラリ全体を対象に、その中の曲をiTunesが自動的に並べ替えて連続再生用のプレイリストを作成する「パーティーシャッフル機能」で、まるでDJになった気分でお楽しみいただけます。もちろん、コンピュータのない外出先でもiPod本体のタッチホイールと大型LCDのコンビネーションでプレイリストを作成することが可能です。

気分に合わせて自動選曲

じっくりと吟味したオリジナル選曲も楽しいものですが、iPodは自動選曲による再生も得意としています。「最近1ヶ月以内に聴いた曲」、「過去の再生回数〇回以上の曲」などのように条件を自由に指定することができ、これに合わせたプレイリストの自動作成が可能です。これは、まさに「自分のお気に入りヒットチャート」が自動作成されているのと同じです。また、朝に目覚めたときは軽いボサノバを、夕暮れ時はジャズを、といった具合にジャンルだけを指定した自動選曲も楽しめます。

簡単な日々の管理

毎日使うミュージックプレーヤーには、管理の簡単さも求められます。例えば、iTunesに追加した新曲をiPodに転送するのも、コンピュータの電源を入れ、iPodを付属のDockに載せるだけです。自動的に音楽管理ソフトのiTunesが起動し、コンピュータとiPodの音楽ライブラリをシンクしてくれます。iTunesに新しく取り込んだ音楽は、CDアルバム1枚あたりを10秒以下の高速転送でiPodに転送。外出先で、iPod本体で作ったプレイリストはコンピュータにも保存されます。もちろん、このままで充電もOK。フル充電されたバッテリーと新しく追加した新曲を持って出かけましょう。

シンプルで確実な操作を実現する5ボタン&タッチホイール

これまでに発売されたミュージックプレーヤーの中でひときわ多機能で、多彩な楽しみ方ができるiPodですが、その使い勝手の良さには誰もが驚かされることでしょう。iPodはたった5つのボタンと円形のタッチホイールだけですべての操作が片手で行えます。タッチホイールに軽く触れ、回すようになぞるだけで曲目リストをスクロール可能。指の動く速さに正確に追従する曲目リストからの選曲を体験すると、ボタンとレバーだけの選曲には戻れないと感じることでしょう。iPodなら、多くのミュージックプレーヤーのような米粒サイズのボタン、小指よりも細いディスプレイに目を細めながらの面倒な操作から解放されることでしょう。

見やすい大きなLCDスクリーン

10,000曲もの収録曲の中からお気に入りの1曲を探すのも、2インチの鮮明なLCDスクリーンを内蔵するiPodなら簡単です。iPodのスクリーンは、6行表示が可能なサイズ。アルバム、ジャンル、アーティスト、作曲者などの検索に必要なさまざまな条件を、しっかり確認しながらすばやく曲を検索できます。LCDスクリーンのコントラスト調節、バックライト機能なども備えており、暗い場所でも使いやすさは変わりません。

こだわりのサウンドクオリティ

iPodが評価されているのは、優れた操作性ばかりではありません。ミュージックプレーヤーの基本とも言える、音のクオリティにも非常に高いこだわりを持って設計されています。

基本圧縮フォーマットはAACを採用

音質を左右する大きな要素として音楽ファイルの圧縮フォーマットがあります。iPodとiTunesは、ポピュラーなMP3方式に対応しています。さらにiPodとiTunesはAAC (Advanced Audio Codec) も採用。この方式は、最新の業界標準MPEG-4のサウンドトラックであり、スタンダードMP3よりも圧縮効率が高く、同じデータ量でもより高音質を実現できることが特長です。この音質の良さは、DVD映画タイトルの音声トラックにも採用されていることから、その実力が分かります。ハリウッドのクオリティに対する厳しい要求を満たした音声圧縮技術が、iPodにも採用されています。さらに高音質を望む場合は、AIFFなど、圧縮を伴わない音楽ファイルを収録することも可能です。AACの標準的なビットレート(時間あたりのデータ量)を増やし、よ

りリッチなサウンドとすることもできます。最新版のiTunesが備えているApple Lossless Encoderを使えば、非圧縮のCDオーディオのクオリティをそのままに半分の記憶サイズでエンコードすることができます。

ハードウェアにも高音質のこだわり

もちろん、音質へのこだわりは音楽のファイル形式だけでは決まりません。iPodは、吟味されたチップと部品で高音質な回路を構成。さらにiPodの内蔵アンプは一般的なポータブルMDプレーヤーでは十分に稼働させることができない、高インピーダンスの高級ヘッドフォンも余裕でドライブできるパワーを持っています。このポータブルミュージックプレーヤーとしては破格の高出力は、当然音質面においても多くのメリットをもたらします。また、付属のインナーイヤ型ステレオヘッドフォンも高音質設計。ドライバー部分は硬質なネオジウム製で、その面積も最大級。20~20,000Hzの周波数を歪みなく、大音量までよどみなく再生します。iPodのために設計された他社製の外部スピーカーをつなげば、コンパクトなホームステレオとしても十分に活用できます。

柔軟なサウンドコントロール

iPodでは音楽をストレートな特性で楽しむだけでなく、自分好みの音質にアレンジできるイコライジング機能も充実しています。JAZZやROCK、Small Speakersといった音質をイメージしやすい名前の付けられた22種類のイコライジングがあらかじめプリセットされているため、設定は簡単。また、録音音量の異なるCDに対応するため、再生音量の自動均一機能(サウンドチェック)も搭載。古いアルバムや録音も違和感なく聞こえるよう、1曲ごとにイコライジングと再生音量を設定することが可能です。



iPodの用途を広げるアクセサリ

iPod用の豊富なアクセサリを活用すれば、自宅で、自動車で、外出先で、iPodの音楽を楽しみながら用途をさらに広がられます。詳しくは、21ページまたは、アップルのオンラインストア Apple Store (www.apple.com/japanstore) でご確認ください。

- ステレオ接続キット
- ワイヤレスリモコン
- 自動車用電源アダプタ
- FMトランスミッター
- マイクロフォン
- メディアリーダー
- トラベルスピーカー
- バッテリーバック



個性的なミュージックライフスタイル

持っていること自体が、ファッションを変える

アップル製品全体に共通している点として、使いやすさを重視したシンプルなデザインでありながら、他にはない個性的な外観を持っているという特長があります。アップル製品を手にした人のライフスタイルがよりアクティブになり、おしゃれな製品デザインに合わせてファッションやインテリアにまで影響を及ぼしていくという傾向があります。特に持ち歩けるiPodの場合、GUCCI、Christian Dior、吉田カバン/Porterなど内外のファッションブランドからiPod専用のケースが発売されたり、iPodのデザインにぴったりの他社製スピーカーなど、iPod専用アクセサリが多数発売されていることから(21ページを参照)、ファッションアイテムとしての注目度がわかることでしょう。

音楽を楽しむスタイルが変わる

iTunes+iPodが提供するライフスタイルは、見た目のファッションナブルさだけではありません。iPodのある生活は、音楽の楽しみ方そのものを変えてしまうだけの力をもっています。例えば、iPodにスピーカーをつないでパーティーのBGMを充実させることもできます。パーティーのテーマやメンバーの雰囲気に合わせて、自らがDJになってとっておきのプレイリストを作って披露してみましょう。自動的にプレイリストを作成するパーティーシャッフル機能を使って、心地よい音楽を流してパーティー空間を演出することもできます。パーティーの途中で一度もBGMが途切れない10,000曲のランダム再生などができるのもiPodならではの機能です。なんと1ヶ月パーティーをし続けても、同じ曲が再生されることはありません。さらに、専用FMデジタルトランスミッターを使って、iPodの音楽をカーラジオや、家庭用ステレオでワイヤレスで楽しむこともできます。最近では、クラブDJが自らセレクトした音楽をiPodで持ち歩き、DJブースでiPodをミキサーにつないで次々と曲をミックスして会場を盛り上げるなど、音楽の新しいスタイルをiPodは実現しています。

自分だけのiPod。レーザーパーソナライズ。

一点の曇りもないミラー仕上げのステンレスバック、透明なポリカーボネートの向こうに見える純白のパネル。iPodは流行に左右されない品位と外観を備えています。自分だけのカスタマイズを楽しみたいと考える人も多いことでしょう。アップルのオンラインストアAppleStoreで注文すれば、レーザーによる高精度な加工で、自分の名前や好きなフレーズを刻印する「レーザーパーソナライズサービス」を選択することができます。いつまでも愛着を持って使える、自分だけのiPodを購入することができます。

シチュエーションにおけるiPodとMDの違い

ショッピングに出かけると、どこかからあなたの好きなアーティストが10年前にリリースしたデビューアルバムの曲が流れてきました。もちろん、あなたも持っている曲です。懐かしくなったあなたは、無性にそのアルバムが聴きたくなりました。

MDユーザーの場合



あなたの好きなそのアーティストは、もう何枚もアルバムをリリースしているので、10年前のデビューアルバムが収録されたMDディスクを常に持ち歩いているわけではありません。あなたは、家に帰ったらそのアルバムが収録されているMDディスクを探して聴こうとそのときは思いましたが、家に帰りつくころにはすっかり忘れてしまいました。

iPodユーザーの場合



あなたはその懐かしい曲を耳にして、すぐにiPodを鞆から取り出しました。あなたのiPodには、そのアーティストのアルバムがすべて収録されています。タッチホイールとボタンを操作してすぐにデビューアルバムを見つけ、当時の思い出に浸りながら、懐かしいその曲を聴くことができました。

楽しみにしていた友達とのドライブ。車の中で聴くための音楽を準備をして、出発です。

MDユーザーの場合



あなたはお気に入りのMDディスクをどっさり車に持ち込みました。アルバムの中の好きな曲を何曲か聴いては、また次のアルバムの入ったMDディスクに交換…と落ち着きません。ドライブの途中からは、仕方なくそれほど好きではない曲も含めて、アルバムを通して聴くことにしました。

iPodユーザーの場合



iPodにFMトランスミッターを装着するだけで、友達の車のカーステレオのセットアップは完了。あなたは、ただ好きな曲を並べたのではなく、おとなしめの曲から、どんどん盛り上がっていく曲へ…と、まるでDJのように曲のムードを考えてプレイリストを作っていたので友達にも大好評。ドライブの途中で海が見えてきたので、すぐにiPodで海にちなんだヒット曲を選んで再生。車内はととても盛り上がりました。

iPodの楽しみ方

まず始めに

バッテリーを充電します お使いのiPodに充電が必要なときは、付属の電源アダプタやコンピュータのFireWireポートにつないで充電してください。1時間ほどでバッテリー容量の80%が充電されず。完全充電には3時間ほどかかります。

ソフトウェアをインストールします iPodの付属CDをコンピュータにセットして、ソフトウェアをインストールします。

iPodを知る最良の方法は、それを使ってみることです。ここでは、iPodを使い始めて、いくつかの新機能を試すまでを手順を追って説明していきます。お使いのコンピュータがMacでもWindowsでも、iPodを使うことがどれほど簡単で楽しく、素晴らしいか納得いただけるでしょう。

準備は簡単、音楽を読み込んで聴いてみよう!

iPodに音楽をダウンロードする

- 1 iPodにダウンロードする音楽は、iTunesであらかじめコンピュータに読み込んでおきます。
 - iTunesで音楽を読み込むには、音楽CDをMacにセットして「読み込み」ボタンをクリックします。すでにMP3ファイルなどをお持ちなら、それをiTunesウインドウにドラッグ&ドロップして読み込ませることもできます。
 - iTunesの初回起動時には、コンピュータ内の他のミュージックアプリケーションで取り込んだ音楽ファイル(MP3などの対応ファイル)をiTunesに探させてライブラリに追加させることもできます。これには、iTunesの初回起動時に開くセットアップアシスタントで「コンピュータに保管されている音楽ファイルを追加する」オプションを選びます。これで、iTunesがサポートする音楽ファイルがライブラリに追加されます(ポイントが追加されるだけで音楽ファイルの場所は変わりません)。
 - iTunesでの音楽ファイルの管理をやりやすくするなら、既存の音楽ファイルを丸ごと専用の「iTunes Music」フォルダに複製することもできます。

これには「詳細設定」メニューの「ライブラリの統合」を実行します。この操作により、ライブラリには(ポイントが)登録されていて、ファイル自体はiTunesの専用フォルダ以外にある曲についてはiTunesの専用フォルダに複製されます。こうして手持ちの音楽を1ヶ所に集めておけば、コンピュータを買い替えたときや、音楽ライブラリ全体を外付けハードディスクや光学メディアにバックアップするのも便利です。

- 2 読み込んだ音楽を自分の好きなように整理したら、iPodにダウンロードする準備完了です。お持ちのiPod専用ケーブルをiPodのDockコネクタに接続するか、専用Dockをお持ちなら背面のDockコネクタにケーブルを接続して、iPodをDockにセットします。iPodもしくはDockから延びるケーブルのFireWireコネクタをコンピュータのFireWireポートに接続します(別売のUSB 2.0+FireWireケーブルでは、PCのUSB 2.0ポートとも接続できます。Windowsのみの対応)。コンピュータがiPodを認識すると、iTunesが自動的に立ち上がります。シンクするかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。これで、コンピュータの音楽ライブラリにある全曲が瞬間にiPodにダウンロードされます。なお、iPodをつないでシンクできるコンピュータは一度に1台だけです。
- 3 音楽のダウンロードが完了すると、iPodのスクリーンにメインメニュー、または「接続を解除できます(OK to disconnect)」が表示されます。これで、iPodをコンピュータから取り外せば、ダウンロードした音楽をどこでも楽しめます。

注記:iPodのスクリーンに「接続を解除しないでください(Do not disconnect)」が表示されているときは、iPodをコンピュータのデスクトップからイジェクトするまで取り外してはいけません。

ヒントとコツ

それでは、iPodのさまざまな機能を使ってみましょう。

音楽のダウンロード

iPodをコンピュータに接続したときにiTunesが自動的に開かないようにできます。これには、ソースリストにあるiPodアイコンを選び、iTunesウインドウ右下に現れる「オプション」ボタンをクリックし、iPod環境設定ダイアログで「接続時にiTunesを開く」のチェックマークを外します。

曲のシンクを手動で管理するときは、同様にiPod環境設定ダイアログで「曲とプレイリストを手動で管理」のラジオボタンを選びます。以降のダウンロードには、iTunesライブラリからiPodアイコンに曲やプレイリストをドラッグ&ドロップします。

外出先で音楽管理

ユーザインターフェイスのカスタマイズ

新しいiPodでは、メインメニューに表示する項目を選べます。項目を選ぶには「設定」をクリックして「メインメニュー」を選びます。ここで、チェックマークを付けた項目はメインメニューに表示され、チェックマークを外した項目は表示されません。メインメニューを標準の状態に戻すとき「メインメニューのリセット」をクリックします。



よく使う項目をメインメニューに入れると便利です。



iPodだけでも、その場でプレイリストが作成できます。

On-The-Goプレイリストの作成

コンピュータから離れているときに特定の曲だけを集めて聴きたくなくても大丈夫です。新しいiPodではOn-The-Goプレイリストを作成して、その場で必要なだけ曲を並べられます。これには「プレイリスト」を選んで「On-The-Go」をクリックします。あとは表示される指示にしたがってください。次のシンク時には、作成したOn-The-GoプレイリストがiTunesに転送され、iTunesのプレイリストに加わります。このプレイリストの内容は、他のプレイリストと同様に、iTunesで自由に変更や曲の並べ替えができます。



iPod上で曲の格付けができるので、気に入っている曲とそうでない曲をすぐに見分けられます。

曲の格付けとスマートプレイリストの自動更新

iTunes同様、iPodも曲の格付けや、スマートプレイリストの自動更新に対応しています。これには「再生中」画面が表示されているときに、iPodの選択ボタンを2回押します。すると、再生中の曲にiTunesでおなじみの一つ星～五つ星の評価を与えられます。この次、iPodをシンクするときには、iPodでの格付け情報がiTunesに反映されます。

バックライトの点灯

iPodのタッチボタンとLCDディスプレイはどちらもバックライトを備えているため、周囲が暗くても確実に操作できます。バックライトを点灯させるには、メニューボタンを数秒間押し続けるか、メインメニューの「バックライト」を選びます。



iPodは暗い場所でも、明るいときと同様に簡単に使えます。

音声の録音

iPodに対応するマイクロフォン(www.apple.com/japanstoreで販売中)を利用すると、音声をボイスメモとして録音できます。録音したボイスメモはiPodに保管され、音楽を同じように再生したり、iTunesにも転送できます。

ボイスメモの録音には:

- 1 iPodにマイクロフォンを取り付けると、録音画面が現れます。
- 2 「録音」を選んで、マイクロフォンに向かって話してみましょう。録音の開始・終了には、iPod本体の再生/一時停止ボタンも利用できます。録音を一時停止して再開した場合、一時停止した部分から続けて録音され(最終的に)1つの音声ファイルになります。録音が終わったら「一時停止」を選び、それから「停止と保存」を選びます。録音した音声はiPodの「Recordings」フォルダに、128Kbps (16bit/8kHz)のWAVファイルとして保存されます。



ボイスメモの再生と削除には：

「エクストラ」>「ボイスメモ」を選ぶと、保存されているボイスメモが録音した日付&時間とともにリスト表示されます。

目的のボイスメモを選んでから、再生または削除してください。

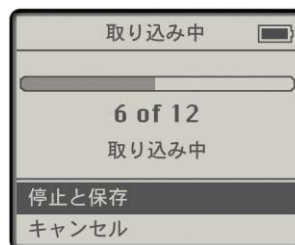


写真の保管

iPodに対応するメディアリーダー(www.apple.com/japanstoreで販売中)を利用すると、デジタルカメラが備える標準的なメモ리카ードに記録されている写真をiPodに保管して、メモ리카ードの記憶スペースを解放できます。このカードをデジタルカメラに戻せば、元通り写真を撮り続けられます。iPodに保管した写真は、後から標準的なデジタルフォトアプリケーション(MacならiPhoto)などを使って、コンピュータに取り込めます。

写真の保管には：

- 1 カメラから外したメモ리카ードをメディアリーダーにセットしてから、メディアリーダーをiPodにつなぎます。画面表示が変わって、メモ리카ードが装着されていること、カードに記録されている写真の枚数、カードの残りの記憶スペースが伝えられます。
- 2 写真の読み込みには「取り込み」を選びます。読み込み中に「停止と保存」を選ぶと、iPodはそこで読み込みを終了し、すでに読み込んだ写真を保存します。「キャンセル」を選ぶと、読み込み操作を中止できます。



- 3 読み込みが完了したら、次のいずれかの操作が選べます：メモ리카ード内の写真はそのまま残しておくときは「完了」を、メモ리카ード内の写真をすべて消去するときは「カードを消去」を選びます。

iPodに取り込んだ写真の情報を見るときは「エクストラ」>「写真の取り込み」を選びます。続けて目的のロール番号を選ぶと、メディアタイプ(JPEGなど)、写真の枚数、ロールのサイズ(容量)が確認できます(写真そのものをiPodで表示することはできません)。



iPodでは次のようなこともできます。

- テキストファイルを読み込んでメモなどの表示が可能。
- 連絡先、スケジュール表、iCalで作ったToDoリストの読み込み。
- アラームクロックとしての利用。
- FireWireまたはUSB 2.0方式のハードディスクとしての利用。

それぞれの具体的な操作方法については、iPodのユーザガイドをご覧ください。

コンピュータに写真を転送するには、iPodをコンピュータにつないで、デジタルカメラからの写真の取り込みに使うアプリケーションを開きます。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Macを使っている場合は、写真の取り込みにはiPhoto、イメージキャプチャのいずれかが利用できます。

注記:メモ리카ードから取り込んだ写真は、iPodの「DCIM」(Digital Camera Images)フォルダに保管されます。コンピュータに写真を移すのに特別なアプリケーションを使っていない場合には、このフォルダをコンピュータで開いて、必要な写真をドラッグ&ドロップでデスクトップなどにコピーする方法も取れます。この場合、iPodを外付けハードディスクとして使えるように設定しておく必要があります(詳しい設定方法は、iPodのユーザガイドをご覧ください)。

iPod対応のメディアリーダーの詳しい使い方については、製品に付属のマニュアルをご覧ください。

iPodのアクセサリ

iPodのアクセサリは各社から発売されており、ますます充実しています。iPodが第3世代になった現在、iPodに向けて設計されたハードウェア製品は50種類以上、ソフトウェア製品は80種類以上を数えます。付属品から他社製品まで、この豊富なアクセサリを活用すれば、自宅で、自動車で、外出先で、iPodの音楽を楽しみながら用途をさらに広げられます。

自宅で

ステレオ接続キット

iPodをホームステレオにつなぐのに必要なものが一式揃っています。



ワイヤレスリモコン

TEN Technology社のNaviPodがあれば、iPodを部屋のどこからでもコントロールできます。この5ボタン付き赤外線リモコンは、iPodの上部に取り付けたレーザーに信号を送って、iPodの音楽を再生・停止・一時停止できるほか、前後の曲にスキップしたり、音量を調節したりできます。



アンプ内蔵スピーカー

JBL社のCreature 2.1スピーカーを利用すると、部屋のどこにいてもヘッドフォンなしでiPodの音楽が楽しめます。



Dock

iPodのホームベースになるエレガントで便利な専用Dockは20GBモデルと40GBモデルに付属し、別売オプションとしてもお求めいただけます。複数台のDockを用意して職場や自宅に置いておけば、どこでも手軽にiPodを充電できます。Dockのステレオライン出力にアンプ内蔵スピーカーをつなげば、iPodは省スペースのステレオに早変わりします。



Dockコネクタケーブル

Dockコネクタケーブルには2種類あります。FireWire用DockコネクタケーブルはiPodに付属のものと同じで、余分に用意しておくとお外出時などに便利です。iPodをWindowsでお使いなら、別売のUSB 2.0+FireWire用Dockコネクタケーブルを利用することで、USB 2.0でシンクしながら、FireWireで充電できます⁶。



自動車で

自動車用電源アダプタ



ドライブ時の充電に便利なXtremeMac社の自動車用電源アダプタは、自動車のシガーソケットを使ってiPodを充電できます。3.5mmオーディオライン出力も備えているので、ここにFMトランスミッターやカセットテープアダプタにつないだり、ステレオミニプラグケーブルを使ってカーステレオのAUX入力と直結すれば、カーステレオのスピーカーからiPodの音楽を再生できます。

FMトランスミッター

Griffin Technology社のiTrip (写真はDockコネクタを装備したiPod用のiTrip2)は、iPodの音楽をカーステレオやホームステレオのFMラジオで受信して再生できます。iPod上部に取り付けて送信用の周波数を選べば、後は到達範囲にあるステレオ側でFMラジオの受信周波数を合わせるだけ。バッテリーは不要です。



自動車用カセットアダプタ

iPodのヘッドフォンジャックにプラグを接続してカーステレオにセットするだけで、iPodの音楽が楽しめます。



カップホルダー

Belkin社のTuneDoKは、自動車のカップホルダーにiPodを固定するアクセサリです。大部分のカップホルダーにぴったり合うので、自動車が揺れても、iPodの操作面を常に自分の方向に向けておけます。



ミニジャックケーブル

一部のカーステレオは外部入力用のAUX端子(ミニジャックやRCAジャック)を備えています。iPodのヘッドフォンジャック用のミニプラグとAUX端子用のプラグを備えたケーブルを用意すれば、iPodをカーステレオに直結して高音質な再生をそのまま楽しめます。

外出先で

マイクروفオン

Belkin社のVoice Recorderでは、ちょっとしたメモやインタビューをiPodに録音できます。Dockコネクタを備えるiPod上部のリモコンコネクタ(4ピン)とヘッドフォンジャックに簡単に取り付けられ、iPodの音声を再生できるモノラルスピーカーも備えています。



メディアリーダー

Belkin社のMedia Readerは1台5役のフラッシュメモリカードリーダーで、iPodの大容量の記憶スペースを利用し、デジタルカメラで撮った写真をiPodに転送・保管するのに利用します。このメディアリーダーはDockコネクタにフィットする30ピンコネクタを備え、単4電池4本で動作し、コンパクトフラッシュ(Type 1, 2)、スマートメディア、SDカード、マルチメディアカード(MMC)、メモリースティックの計5種類のメディアに対応しています。



トラベル用スピーカー

Altec Lansing社のinMotionはiPod専用のポータブルスピーカーで、iPodの音楽をどこでも、ヘッドフォンなしで大音量で楽しめます。電源コンセントも不要です。



ベルトクリップ付きキャリングケース

20GBモデルと40GBモデルに付属し、別売オプションとしてもお求めいただける純正キャリングケースです。高品質なSchoeller社製ナイロン素材を正確に縫製して作られたキャリングケースには、耐久性に優れたスチール製スプリングクリップも付いています。ベルト、カバン、バックパックに付ければ、外出先でもiPodをしっかり守れます。

ワイヤードリモコン

20GBモデルと40GBモデルに付属し、別売オプションとしてもお求めいただけるワイヤードリモコンと高品質ヘッドフォンをペアで使えば、iPodがもっと便利になります。リモコン上の4つのボタンでは、曲の音量調節・早送り・巻き戻し・再生・一時停止が操作できます。リモコン上のホールドスイッチでは、リモコンをロックしてボタンの誤操作が起きないようにできます。



バッテリーパック⁹

旅行に最適なBelkin社のバッテリーパックです。単3電池を4本入れて、音楽の再生時間をさらに20時間以上も延ばせます。



ポケットドック

SendStation社のPocketDockは、Dockコネクタを備えるiPodのシンクや充電を、通常の6ピン-6ピンFireWireケーブルで行えるようにする便利アイテムです。



ワールドトラベルアダプタキット

このキットを備えておけば、iPodを持って世界中を旅する場合にも安心です。このキットには世界各国の電源コンセントに合う6種類のACプラグが含まれ、世界の多くの地域でiPodを充電する確実な手段となります。



製品の詳細

標準構成

Apple StoreとiMac/iBookデモ展示販売店では、以下のiPodモデルをお求めいただけます。

製品番号	M9460J/A	M9244J/A	M9245J/A
ドライブ ¹	15GB	20GB	40GB
バッテリー稼働時間	最長8時間 ⁵		
スキッププロテクション	最長25分間		
ディスプレイ	対角2インチグレースケールLCD、バックライトLED付き		
ポート	Dockコネクタ、リモコンコネクタ、ステレオミニジャック		
接続方法	FireWire 400、USB 2.0 (いずれもDockコネクタ経由) ⁶		
充電時間	最長3時間 (1時間でバッテリー容量80%まで高速充電)		
オーディオフォーマット	AAC (16~320Kbps)、MP3 (32~320Kbps)、MP3 VBR、Audible ⁸ 、AIFF (Macのみ)、WAV		
サイズ	104.1×60.9×15.7mm	104.1×60.9×15.7mm	104.1×60.9×18.5mm
重量	158g	158g	176g
付属ソフトウェア	iTunes for Mac、iTunes for Windows		
付属アクセサリ	インナーイヤードヘッドフォン、ACアダプタ、FireWireケーブル、4ピン-6ピンFireWireアダプタ	Dock、リモコン、キャリングケース、インナーイヤードヘッドフォン、ACアダプタ、FireWireケーブル、4ピン-6ピンFireWireアダプタ	

システム条件

Mac環境

- FireWireポートを標準装備するMacintosh
- Mac OS X v10.1.5以降 (Mac OS X v10.2.8以降を推奨)
- iTunes for Mac (付属CDに収録)。

Windows環境

- 標準搭載のFireWire (IEEE 1394) またはUSB 2.0ポート、またはWindowsで動作確認されているFireWireまたはUSB 2.0カードを装備するPC⁶
- Windows 2000 Service Pack 4、Windows XP Home/Professional Edition
- iTunes for Windows (付属CDに収録)。

関連製品

以下の製品を活用することで、iPodによるリスニング体験がさらに広がります(カッコ内は製品番号)。

- iPod専用Dock (M9130G/A)
- リモコン付きインナーイヤー型ヘッドフォン (M9128G/A)
- インイヤー式ヘッドフォン (M9394G/A)
- ベルトクリップ付きキャリングケース (M9129G/A)
- FireWire用Dockコネクタケーブル (M9127G/A)
- USB 2.0+FireWire用Dockコネクタケーブル (M9126G/A)
- ワールドトラベルアダプタキット (M8749G/A)
- Belkin Auto Charger w/Audio (T6715PA/A)
- Belkin Backup Battery Pack (T6714PA/A)
- Belkin iPod Voice Recorder (T7419PA/A)
- Belkin iPod Media Reader (T7418PA/A)
- Belkin TuneDok カーホルダー (T7420PA/A)
- audio-technica カーカセットアダプタ AT-CA5 (T4789J/A)
- TEN Technology NaviPod Wireless Remote (T6921ZM/A)
- Griffin iTrip2 (T7434J/A)
- Altec Lansing inMotion Portable Speakers (T8355LL/A)
- Stereo Connection Kit with Monster Cable (M9339LL/A)
- SendStation PocketDock (T8579LL/A)

レーザーパーソナライズサービス

iPodの背面にレーザー彫刻による文字(26文字×2行まで)を入れて、iPodをパーソナライズできます。レーザーパーソナライズサービスは、アップルのオンラインストア、Apple Storeにて承っています。

技術仕様

記憶容量

- 15GB、20GB、または40GBハードディスクドライブ¹
- 128Kbps AACまたはMP3フォーマットで最大3,750曲、5,000曲、10,000曲保存²
- FireWireまたはUSB 2.0ディスクモードでのデータ記憶

サイズ/重量

- 15GBモデル: 104.1×60.9×15.7mm、158g⁴
- 20GBモデル: 104.1×60.9×15.7mm、158g⁴
- 40GBモデル: 104.1×60.9×18.5mm、176g⁴

入出力

- Dockコネクタ
- 3.5mmステレオミニジャック
- ワイヤードリモコン専用コネクタ

電源およびバッテリー

- 内蔵リチャージャブル・リチウムイオンバッテリー (630mAh)
- 再生時間: 8時間 (バッテリー完全充電時)⁵
- FireWireコネクタ経由でコンピュータまたは電源アダプタを使って充電
 - 高速充電時間: 1時間 (バッテリー容量の80%充電)
 - 完全充電時間: 3時間

オーディオ

- 最長25分間のスキッププロテクション
- 周波数特性: 20Hz~20,000Hz
- 対応する音声フォーマット: AAC (最高320Kbps)、MP3 (最高320Kbps)、MP3 VBR (可変ビットレート)、WAV、AIFF (Macのみ)、Audible⁸
- ファームウェアのアップグレードにより、将来的に他の音声フォーマットにも対応可能

カスタマイズ設定

- メインメニューのカスタマイズ
- On-The-Goプレイリストの作成
- 曲の格付け (マイレート)
- 曲やアルバムのシャッフル再生
- 1曲または全曲のリピート再生
- サウンドチェックのオン/オフ
- 20種類のイコライザ設定
- バックライトタイマー
- 表示コントラスト
- アラームのオン/オフ/消音
- スリープタイマー
- 日付と時刻

- メニューバーでの時刻表示
- アドレス帳の名前順ソートと表示
- クリックカーのオン/オフ
- 言語: 日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、デンマーク語、ノルウェー語、ポルトガル語、フィンランド語、スウェーデン語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語

ヘッドフォン

- インナーイヤー型ヘッドフォン(ネオジウム製トランスデューサーマグネットによる直径18mmのドライバを使用)
- 周波数特性: 20Hz~20,000Hz
- インピーダンス: 32Ω

ディスプレイ

- 対角2インチ白色LEDバックライト付き液晶ディスプレイ
- 160×128ピクセル解像度、0.24mmドットピッチ
- 複数言語および文字の同時表示をサポート

動作環境

- 動作時温度: 0°C~35°C
- 保管時(非動作時)温度: -20°C~45°C
- 相対湿度: 5%~95%(結露しないこと)
- 最高動作高度: 3,000m

電源アダプタ

- 6ピンFireWireコネクタ
- AC入力: 100V~240V(最大0.4A)
- 電源周波数: 50Hz/60Hz
- DC出力: 12V(最大1A)

さらに詳しい情報

iPodに関する詳細は、www.apple.co.jp/ipodをご覧ください。iTunesに関する詳細は、www.apple.co.jp/itunesをご覧ください。

iPod、iTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するための使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。¹ハードディスク容量を示す単位は1GB=10億バイトですが、実際にフォーマットされた容量はそれ以下となります。²記憶容量は、演奏時間4分の曲を128KbpsでAACまたはMP3エンコーディングした場合のファイルサイズを基準にしています。「10,000曲」の表現は40GBモデルを指しています。³別売のアクセサリが必要です。⁴重量はモデル構成により異なります。⁵内蔵バッテリーの充電可能回数には限界があり、将来的に交換が必要になる場合があります。バッテリーの寿命と充電可能回数は、設定や使用方法により異なります。⁶USB 2.0接続はWindowsコンピュータのみのサポートで、別売のUSB 2.0+FireWire用Dockコネクタケーブルが必要です。⁷実際の転送速度は、接続する装置により異なります。⁸Audible.comは英語によるサービスで、利用にはインターネット接続アカウントとAudibleサービスへの登録(利用料が課されます)が必要です。⁹一部のアプリケーションのみの対応です。詳しくは、www.apple.co.jp/ipodをご覧ください。

© 2004 Apple Computer, Inc. All rights reserved. Apple, Appleロゴ、Apple Store、FireWire、iTunes、Mac、Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。iCal、iPhoto、iPod、Safariは、Apple Computer, Inc.の商標です。この資料に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。この資料の記載内容は2004年5月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更することがあります。この資料は情報提供のみを目的とするもので、アップルではその使用に関連する一切の責任を負いません。